

図書館だより

目次

特集「子ども支援を知るための本」	……1～3
インフォメーション	……4

特集「子ども支援を知るための本」

この特集では、みなさんも体験したことのある「遊び」が、子ども支援とどう関係しているのかを知るための本と、子ども支援についての定期雑誌を紹介しします。おすすめの図書を選定してくださったのは、保育学が専門の善本眞弓教授と心身障害学が専門的那須野三津子教授です。

特集の前半では、善本教授が、アナログゲームに関する本を紹介しします。最近、昔ながらのアナログゲームが注目されています。この本で説明されている理論を読むと、注目されている理由が理解しやすくなるでしょう。アナログゲームってなんだろう？と気になった方は、子ども学部の卒業生が、本学の学園祭で開催した小さな子どもから大人まで一緒に楽しめるアナログゲームのイベントの記事も読んでみてください。



記事を読むためのQR

(記事の URL) <https://www.tsu.ac.jp/d-children-studies-news/20231110/>

次に、那須野教授は、保育業界初の発達支援専門誌を紹介しています。本誌を創刊した編集長へのインタビュー記事¹⁾によると、この雑誌は、2007年に別の保育専門誌のなかのモノクロ2ページの小さなコーナーとして始まりました。このコーナーへの反響は年を追うごとに大きくなり、雑誌業界全体の発行部数が年々減少するなかでも、ついに定期的に刊行される雑誌になったのです。編集長は、保育に関係のない方が書店を訪れて、「発達支援？何だろう？」と、本誌が目にとまる意義は大きいはずと語っています。

特集の後半では、「障がいのある子どもの場合は、どうすればいいの？」といった疑問に答えます。遊びのねらいを知ることで、障がいがあるかどうかに関係なく、その子の発達を促すことができるそうです。ここでは、同じ著者の本を2冊紹介しています。読み比べて、みなさんが知っている遊びを見つけて「この遊びにはこんな目的があったんだ！」と気づくことを期待しています。

また、この大学の図書館には、子ども支援に役立つ紙芝居や絵本がたくさんあります。実際に手に取って、どんな風に子どもたちの心が動くのかを感じとってみるのもいいですね。



写真：紙芝居・絵本コーナー

1) 遠藤光太，“発達に課題がある子どもは「問題児」ではない。

『PriPri パレット』編集長に聞く。” ハフポスト, 28 June 2021,

www.huffingtonpost.jp/entry/story_jp_60cbee70e4b0b50d622b820d. Accessed 25 June 2025.

◇ 善本教授 推薦図書 ◇

著者：松本 太一

書名：アナログゲーム療育—コミュニケーション力を育てる—（幼児期から学齢期まで）

刊行年：2018年 出版社：ぶどう社

パソコンやスマホなどの電子機器やコンピューターを使ったデジタルゲームが普及していますが、本書には理論と著者の実践から、ボードゲームやカードゲームなどのアナログゲームでの遊びが、他者とのコミュニケーション力を育むことが示されています。

著者の松本太一氏は、小学校の心理相談員、人材紹介企業で発達障がいのある成人の就労支援、放課後デイサービスで小学生の療育に携わり、発達障がいのある子どもが他者と関わる力＝コミュニケーション力を育む「アナログゲーム療法」を開発しています。

本書では、ピアジェの理論を基に、①1歳半～2歳、②2歳～7歳、③7歳～12歳、④12歳以上、の4つのステージに分けて療育の指導目標が示され、その時期にふさわしいゲームが全20種、実践事例や進め方のノウハウなどとともに紹介され、写真やイラストも混じえて具体的にわかりやすく解説されています。

この本に紹介されるゲームは、どのゲームも療育を必要とする人だけでなく、幅広い年齢層の全ての人を楽しめるゲームです。本書をきっかけにして、療育に活用するという視点だけでなく、人との関わりを無理なく楽しいものにするゲームとして、ご家族・友人・地域の方・これから出会う子どもたち・職場の同僚などの他者とアナログゲームを楽しんでいただければと思います。



◇ 那須野教授 推薦図書 ◇

雑誌名：PriPri パレット：発達支援：多様な子どもたちがかがやく保育

刊行：年6回 出版社：世界文化社

この雑誌は、保育業界初の発達支援の季刊誌として、2021年に創刊され、翌2022年から隔月で刊行されています。今の社会の状況で保育者が知りたいことや支援のアイデアなどが、写真やイラストを交えながらわかりやすく解説されているのが特徴です。

たとえば、2024年10・11月号では、「”外国ルーツ”のお子さんの発達障害」について取り上げて、障がいの捉え方と専門機関へのつなげ方などを説明しています。実際には、説明があったとしても、解決できないことや分からないことが生じたりし、専門家に相談したいと思うこともあるでしょう。このような保育者の「困った」気持ちに寄り添うように、この号では、発達支援の専門家が園を訪れ、支援が必要な子への保育のアドバイスを行う「巡回相談」を特集しています。

また、この雑誌は、オンラインサイトの情報と連携しており、ICTを活用している世代のニーズにうまく対応したものになっています。各号では、雑誌に掲載されたあそび素材や支援ツール素材などがウェブ上で提供され、有効期限内であればダウンロードできるようになっています。雑誌とデジタルコンテンツを組み合わせることで、より深い学びと発達支援のヒントを得られる点も、この雑誌の魅力といえるでしょう。



◇ 那須野教授 推薦図書 ◇

著者：藤原里美

書名：発達が気になる子の感覚統合遊び

刊行年：2024年 出版社：日本文芸社

この本は、感覚統合という考え方をわかりやすく説明しながら、脳の成長に合わせた遊びを紹介しています。その遊びの数は、アレンジも含めると100以上になります。

著者の藤原里美氏は、公立保育園や東京都立梅ヶ丘病院、東京都立小児総合医療センター等での勤務経験があります。これらの豊富な経験のある著者と、作業療法の専門家とともに遊びのアイデアは考えられていますので、その遊びにはどのような効果とねらいがあるのかなども参考になります。

さらに、この本をおすすめする理由は、実年齢（または生活年齢）を目安にしていないところです。保育の分野では、「●歳●ヶ月頃に●●ができるようになる」といった説明がよく見られます。しかし、この考え方を、発達年齢と生活年齢が大きく異なるお子さんや成人の方の支援に適用しようとする、何をすればよいのか戸惑うでしょう。このような時にも、脳の成長に合わせた遊びを紹介しているこの本はヒントになると思います。本書の遊びは、障がいの有無にかかわらず、一人ひとりのお子さんに合わせて選ぶ内容になっていますので、たくさんの方に手に取ってほしい一冊です。



◇ 善本教授 推薦図書 ◇

著者：藤原里美

書名：発達障害の子どもがとことんあそべる 手作り 感覚おもちゃ

刊行年：2023年 出版社：世界文化社

本書には、感覚遊びのための手作りおもちゃ37種が紹介されています。書名にある「感覚おもちゃ」の「感覚」とは、五感「視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚」に加えて、「固有覚」（筋肉や関節の感覚）と「前庭覚」（身体のバランス・スピード・揺れ・回転など）の二覚をさしています。

本書では「簡単にあそべる」「考えあそぶ」「立って遊べる」という3つの項目別に感覚おもちゃが紹介されています。1つ1つのおもちゃには「視覚」「聴覚」「触覚」「固有覚」「前庭覚」のマークがついていますので、対象の子どもに合わせたおもちゃを選択することができるようでしょう。おもちゃの写真はすべてカラーで、「子どもの姿」や「作り方とポイント」がわかりやすくていねいに示され、比較的手に入りやすい材料で手軽に作れるおもちゃばかりです。

発達障がいのある子どものなかには、感覚過敏や、感覚が鈍麻である子どもがいます。一人ひとりの子どもがストレスなく楽しく、情緒を安定させて遊べるように、子どもの身近な大人である保育者や教師には、場やものの環境を整え、適切な援助をすることが求められます。発達障がいの子もだけでなく、多くの子どもが興味や関心をもって遊ぶことができるおもちゃがセレクトされていますので、本書を参考にして目の前にいる子どもが楽しく遊べるように「感覚おもちゃ」を用意することに役立てていただきたい1冊です。



Information

図書館個人ポータル「マイライブラリ」の有効活用について

マイライブラリとは、利用者一人一人の専用ページです。

マイライブラリを利用するには、PC またはスマートフォンで図書館のホームページの右上からログインします。



ログイン ID：学籍番号／初期パスワード：生年月日(西暦表記で8桁) ※パスワードは初回ログイン時に変更をしてください。

【マイライブラリでできること】

- ・自分の借りている資料確認
- ・延長の手続き(二週間の延長ができる)
- ・貸出中の資料の予約
- ・過去に借りた資料履歴の確認
- ・資料のリクエスト(フォームへ入力)
- ・ブックマークの登録

【有効活用いただきたい点】

延長・予約・リクエストは、マイライブラリを活用することをお勧めします。

手続きしたいけど図書館に行けないなど、困った時にはマイライブラリをぜひ活用ください。

とても便利です！

夏季休業中の図書館利用について

■ 図書の長期貸出について

夏季休業中は、以下のとおり特別長期貸出を実施いたします。

実施期間： 2025年7月22日(火)～9月13日(土)

返却期限： 2025年9月26日(金)

■ 開館スケジュール *変更される場合があります。HP や掲示板をご確認ください。

9:00～21:00	9:00～14:00	休 館
------------	------------	-----

7 月						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8 月						
月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9 月						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

